

# セルクル・きほく

～紀北支援だより～



和歌山県立紀北支援学校  
教育支援部  
No.2

## 【紀北あいさつ運動 ～あいさつで笑顔いっぱいあふれるよ！～】

本校では、毎日高等部生徒会本部を中心に校舎前に立って、あいさつ運動をしています。「あいさつがあふれる学校にしたい」という生徒会本部の思いから取り組みましたが、今では本部だけでなく各クラスからも多数の生徒が参加しています。「おはよう」ではなく「おはようございます」とあいさつすることを意識して取り組んでいます。毎日の取組を通して、小学部の児童も元気よくあいさつできることが増えてきました。

「あいさつ」は社会的行動やコミュニケーションの基本です。社会に出て求められる力の中でも、あいさつができるということはとても重要です。キャリア教育の視点からも、この取組に力を入れて取り組んでいます。また、障害のある子ども達は生活や遊びの中から様々なことを「自然に」学び身につけたり、その力を応用（般化）したりすることが苦手です。「おはよう」ではなく「おはようございます」とあいさつすることも、そのような視点から意図的に取り組んでいるのです。

紀北の一日は、元気なあいさつから！  
子どもも教師も、とても気持ちよく毎日の学校生活をスタートすることができています。



## 発達障害の特性への理解と教育的対応 ～情報理解の難しさ～

### <どんなこと？>

- \* 情報を理解したり伝えたりすることが苦手。
- \* 情報が多いと混乱したり一部しか把握していない。
- \* 言葉の意味を理解せず、字義通りの解釈をしてしまう。

### <どんな姿？>

- \* 学習において、一部の情報しか取り込めていない。間違っただけで情報を解釈している。
- \* 自分の関心のある部分にしか注目できない。
- \* 抽象的、比喩的なことが理解できない。
- \* 洒落が理解できない。

### <教育的対応>

- \* 視覚的なもの、図やフローチャート等を活用して情報を提示する。整然と示す
- \* 一度にたくさんの情報を提示しない。簡潔に、具体的に表現する。
- \* 婉曲な表現は使わず、直接的な表現に留意する。

## 自立活動について

### <次期学習指導要領では>

(総則) 2 特別な配慮を必要とする児童への指導

(1) 障害のある児童などへの指導

イ 特別支援学級において実施する特別の教育課程については次のとおり編成する

(ア) 障害による学習上または生活上の困難を克服し自立を図るため、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す自立活動を取り入れること

と、示されています

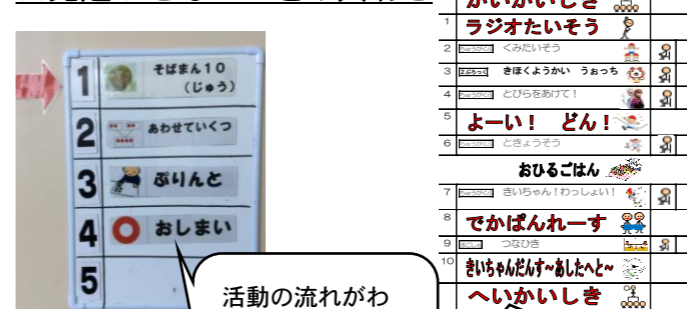
自立活動とは、特別支援学校の教育課程に特別に設けられた障害に対応した指導領域です。障害のある児童生徒の場合、その障害によって学習場面や日常生活において様々なつまづきや困難が生じることから、生活年齢に即して教育するだけでは十分とは言えず、個々の障害による学習上または生活上の困難を改善・克服するための指導が必要となります。それが「自立活動」です。

自立活動は、授業時間を特設して行う「自立活動の時間における指導」と教育活動全体を通じて行う「合わせた指導」があります。本校では、過去に自立活動の指導についての研究を行い、教育課程上に「時間における指導」を位置づけて実践を行っています。今後も、自立活動の指導についての情報や実践等を発信していきたいと思っています。センター的機能の中でも自立活動について知りたいことや指導のプロセス等のニーズがありましたら、本校までご相談ください。

## 教材・支援グッズ紹介

本人がわかる位置に提示する

### ☆見通しをもつことの大切さ



活動の流れがわかると意欲や集中につながる

時間の見える化

出場、待つ、の提示  
終わったらシールを貼る。流れが見える。

### 【本校の予定】

- 3月6日 高等部卒業式
- 3月7日 入学選考・入学面接
- 3月15日 小・中学部卒業式
- 3月16日 愛徳分教室卒業式
- 3月22日 入学・転入学説明会

### <ご相談は...>

紀北支援学校 教育支援部

TEL 073-479-1356

相談メール

kihoku-shien@wakayama-c.ed.jp